©2019 GUSHIKEN,Tohru

学習ナビゲーション追加分コンテンツ（令和2年度受験用）

以下は，本書学習ナビゲーションに関する令和2年度受験用の最新情報です。A4（横）にて印刷の上，点線に沿って切り取り，本書の学習ナビゲーション」の該当ページに貼り付けてご活用ください。

切り取り

「チャンス問題」の出題割合（35ページ）

年度	チャンス問題の割合	年度	チャンス問題の割合
平成31年度	32%	平成28年度	63%
平成30年度	40%	平成27年度	56%
平成29年度	48%	平成26年度	48%

切り取り

午前Ⅱ試験の出題範囲（35ページ）

出題分野	傾向	午前Ⅱ試験出題数 （年度ごと）						
		31年度	30年度	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度
プロジェクトマネジメント	メインの出題分野	16	15	17	14	15	15	15
セキュリティ	毎年1～2問出題	2	2	2	1	2	2	0
システム開発技術	毎年0～2問出題	1	1	0	2	1	1	2
開発プロセス・手法	毎年1～4問出題	1	2	2	4	2	3	2
サービスマネジメント	毎年1～2問出題	1	2	2	1	1	2	1
システム戦略	毎年0～2問出題	1	0	0	2	2	0	1
企業と法務	毎年1～3問出題	3	3	2	1	2	2	4

切り取り

午後Ⅰ試験問題の出題傾向と学習優先度（37ページ）

出題分野	出題率	出題傾向	学習の優先度	学習優先度に関する説明
プロジェクト統合マネジメント	**63%**	↘	★★	**頻出**だが出題はやや減少傾向
プロジェクト・スコープ・マネジメント	50%	↗	★★★	平成26年度に特化した問が出題 **類似の出題**に備える必要あり
プロジェクト・タイム・マネジメント	**88%**	→	★★★	**頻出**のため**重点学習**が必要！
プロジェクト・コスト・マネジメント	**63%**	→	★★	**頻出**であり出題傾向はほぼ同じ
プロジェクト品質マネジメント	**75%**	↘	★★★	**頻出**のため**重点学習**が必要！
プロジェクト人的資源マネジメント	**63%**	↘	★★	**頻出**だが出題はやや減少傾向
プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント	38%	↗	★★	平成28年度に特化した問が出題 **出題率が増加**しており要注意
プロジェクト・リスク・マネジメント	50%	↘	★	**頻出**だが出題は減少傾向
プロジェクト調達マネジメント	**75%**	↗	★★★	**頻出**かつ出題は**増加傾向**
プロジェクト・ステークホルダー・マネジメント	38%	↗	★★	平成26年度に特化した問が出題 **類似の出題**に備える必要あり **PMBOK5.0からの新分野**のため出題率増加が予想される。

切り取り

午後Ⅱ試験問題の出題パターンと学習優先度（39ページ）

出題分野	出題率	出題傾向	学習の優先度	学習優先度に関する説明
プロジェクト統合マネジメント	**50%**	↘	★★★	**頻出**のため確実に書ける準備を！
プロジェクト・スコープ・マネジメント	**38%**	↗	★★★	**出題傾向増加**のため要注意！
プロジェクト・タイム・マネジメント	13%	↘	★	出題は減少傾向
プロジェクト・コスト・マネジメント	**38%**	↗	★★	定番分野のため書けると好ましい
プロジェクト・品質マネジメント	**38%**	↗	★★	定番分野のため書けると好ましい
プロジェクト・人的資源マネジメント	13%	↘	★	出題は減少傾向
プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント	1%	↘	★	出題は減少傾向
プロジェクト・リスク・マネジメント	**25%**	↘	★★	定番分野のため書けると好ましい
プロジェクト・調達マネジメント	13%	↘	★	出題は減少傾向
プロジェクト・ステークホルダー・マネジメント	**25%**	↗	★★	**PMBOK5.0からの新分野**のため出題率増加が予想される。要準備！

©2019 GUSHIKEN,Tohru

学習ナビゲーション追加分コンテンツ（令和2年度受験用）

以下は，本書学習ナビゲーションに関する令和2年度受験用の最新情報です。A4（横）にて印刷の上，点線に沿って切り取り，本書の学習ナビゲーション」の該当ページに貼り付けてご活用ください。

切り取り

午後Ⅰ試験における出題傾向詳細（51ページ）

大分類	小分類	出題頻度
プロジェクト統合マネジメント	プロジェクトやフェーズの終結【→5】	■
	統合変更管理【→6】	■■■
プロジェクト・スコープ・マネジメント	スコープ・マネジメント計画【→9】	■
	要求事項収集【→9】	■
	スコープ妥当性確認【→9】	■
プロジェクト・タイム・マネジメント	スケジュール・マネジメント計画【→12】	■■
	アクティビティ定義【→12】	■
	アクティビティ資源見積り【→13】	■
	スケジュール・コントロール【→15】	■■
プロジェクト・コスト・マネジメント	コスト・マネジメント計画【→18】	■■
	コストの見積り【→18】	■
	コスト・コントロール【→19】	■
プロジェクト品質マネジメント	品質マネジメント計画【→22】	■■■
	品質コントロール【→25】	■■■
プロジェクト人的資源マネジメント	人的資源マネジメント計画【→29】	■■
	プロジェクトチーム編成【→30】	■■
	プロジェクトチーム育成【→30】	■
	プロジェクトチームのマネジメント【→31】	■
プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント	コミュニケーション計画【→34】	■
	コミュニケーション・コントロール【→35】	■
プロジェクト・リスク・マネジメント	リスク特定【→38】	■
	リスク対応計画【→39】	■■
プロジェクト調達マネジメント	調達マネジメント計画【→43】	■■
	調達コントロール【→44】	■
プロジェクト・ステークホルダ・マネジメント	ステークホルダー・マネジメント計画【→48】	■
	ステークホルダー特定【→48】	■
	ステークホルダー・エンゲージメント・コントロール【→48】	■

※出題頻度の凡例　■■■：過去16年で50問以上出題：，　■■：過去16年で20～49問出題，■：過去16年で0～19問出題

切り取り

平成28年度　午後Ⅱ試験の評価ランク分布（52ページ）

評価ランク	説明	合否	人数	割合
A	合格水準にある	合格	1541人	39.9%
B	合格水準まであと一歩である	不合格	689人	17.8%
C	内容が不十分である	不合格	1028人	26.6%
D	出題の要求から著しく逸脱している	不合格	605人	15.7%
合計			3863人	

切り取り

プロジェクトマネージャ試験　重要キーワード確認表 追加分　（99ページ）

キーワード	説明	学習進捗 理解	学習進捗 復習
タックマンモデル	チームの発展段階を以下の五段階に区分したモデル（平成29年度午前Ⅱ試験に初出題） 成立期（Forming）：メンバーがお互いを知らず，共通の目的を模索している。 動乱期（Storming）：目的や役割について意見を発し，対立が生まれる。 安定期（Norming）：他人の考えを受容し，チーム内の関係性が安定する。 遂行期（Performing）：一体感が生まれ，チームの力が目標達成に向けられる。 解散期（Adjourning）：メンバー間の総合関係を終結させる。	□	□
PDM	プレジデンスダイアグラム法と訳される。作業を四角のノードで示し，その順序や依存関係をアローとして表す。以下4種類の依存関係を定義できる。（平成29年度午前Ⅱ試験に初出題） 終了-開始(FS)：前のタスクが終了したら，後ろのタスクを開始できる。 開始-開始(FS)：前のタスクが開始したら，後ろのタスクを開始できる。 終了-終了(FS)：前のタスクが終了したら，後ろのタスクを終了できる。 開始-終了(FS)：前のタスクが開始したら，後ろのタスクを終了できる。	□	□
ベロシティ	アジャイル開発において生産性を測定する単位。定められた期間で製造，妥当性確認，受入れを経て実現された要求事項の量。（ウォーターフォールモデルでの生産性とは意味が異なる。）（平成29年度午前Ⅱ試験に初出題）	□	□
トルネード図	リスク事象の影響度を分析し、どのリスク事象が潜在的な影響を一番大きくかかえているかを判断するための定量化技法の一つ。縦軸にリスクを並べ、横軸にマイナスの影響度合い、プラスの影響度合いを表現した竜巻のような図のこと。	□	□

©2019 GUSHIKEN,Tohru

学習ナビゲーション追加分コンテンツ（令和2年度受験用）

以下は，本書学習ナビゲーションに関する令和2年度受験用の最新情報です。A4（横）にて印刷の上，点線に沿って切り取り，本書の学習ナビゲーション」の該当ページに貼り付けてご活用ください。

切り取り

午前Ⅱ試験 チャンス問題一覧 追加分（103ページ）

年度	問	本書参照	問題内容	正解／不正解
26	3	【1】のPointCheckと同じ問題	組織のプロセス資産に分類されるもの【→1】	正解・不正解
29	5	【9】に本分野の解説あり	WBSの構成要素であるワークパッケージに関する記述【→9】	正解・不正解
29	4	【6】の演習リストに同じ問題あり	ローリングウェーブ計画法【→9】	正解・不正解
29	1	【13】の演習リストに同じ問題あり	クリティカルチェーン法の実施例【【→13】	正解・不正解
29	12	【19】の演習リストに同じ問題あり	EVMにおけるCPIが1.0を下回っていた場合の対処【→19】	正解・不正解
30	25	【50】の演習リストに同じ問題あり	テンペスト技術の説明とその対策【→50】	正解・不正解
30	18	【63】の演習リストに同じ問題あり	リーンソフトウエア開発の説明【→63】	正解・不正解
29	12	【63】の演習リストに同じ問題あり	マッシュアップを利用してWebコンテンツを表示している適切な例【→63】	正解・不正解
30	22	【67】の演習リストに同じ問題あり	労働基準法及び労働契約法が定める，就業規則に係る使用者の記述【→67】	正解・不正解
30	23	【68】の演習リストに同じ問題あり	基準値を超える有害物質を電気・電子機器に使用することを制限するために施行したもの【→68】	正解・不正解
31	11	【34】の演習リストに同じ問題あり	傾向分析の説明【→34】	正解・不正解
31	13	【29】に本分野の解説あり	開発要員投入計画に基くPCレンタル費用の最低金額【→29】	正解・不正解
31	24	【50】のPointCheckと同じ問題	AESにおける鍵長の条件【→50】	正解・不正解
31	25	【50】の演習リストに同じ問題あり	DNSSECの機能【→50】	正解・不正解

切り取り

プロジェクト・タイム・マネジメント特訓フローチャート 追加分（107ページ）

（3）高難度問題による実力強化及び実力チェック

解説入手	年度	問	制限時間	出題内容についての説明	正解率	復習
□	31	1	40分	コンタクトセンタにおけるシステムのデータ移行や，移行後の対応に関する進め方について出題。	（　%）	□

切り取り

プロジェクト品質マネジメント特訓フローチャート 追加分（110ページ）

（3）高難度問題による実力強化及び実力チェック

解説入手	年度	問	制限時間	出題内容についての説明	正解率	復習
□	30	2	40分	品質分析を高度化するための新たな品質管理指標の制定と，過去のプロジェクトへの適用による有用性の検証について出題。国語の問題に近く，出題者の意図を察する力を鍛えることができます。	（　%）	□
□	29	3	40分	長年の改修を経て，プログラム及びデータ構造が複雑化することにより，設計・製造の難易度が高まっているシステムに関する品質管理に関する出題。	（　%）	□

切り取り

プロジェクト人的資源マネジメント特訓フローチャート 追加分（111ページ）

（2）過去問題部分解答演習による解答パターンの理解

解説入手	年度	問	設問	出題内容についての説明	理解	復習
□	30	3	3	開発経験が不足している会社に開発を委託する場合のリスクと，リスクを軽減するための対応策について出題。	□	□

（3）高難度問題による実力強化及び実力チェック

解説入手	年度	問	制限時間	出題内容についての説明	正解率	復習
□	31	3	40分	自分の仕事への自負と責任感が強い社員に，その特徴を生かしつつ定量的マネジメントを浸透する方法について出題。	（　%）	□

プロジェクト統合マネジメント特訓フローチャート 追加分（112ページ）

追加はありません。

切り取り

プロジェクト・コスト・マネジメント特訓フローチャート 追加分（114ページ）

（1）良問による基礎知識の強化

解説入手	年度	問	出題内容についての説明	理解	復習
□	30	1	SaaSを利用したシステムを導入する際のシステム化方針，サービス選定，要件定義について出題。難易度が低く，基礎知識の習得に最適。	□	□

（2）過去問題部分解答演習による解答パターンの理解

解説入手	年度	問	設問	出題内容についての説明	理解	復習
□	31	3	3(3)	EVMを実施する中で，プロジェクト全体の遅れにつながる予兆を検知する方法について出題。	□	□

切り取り

プロジェクト・リスク・マネジメント特訓フローチャート 追加分（115ページ）

（2）過去問題部分解答演習による解答パターンの理解

解説入手	年度	問	設問	出題内容についての説明	理解	復習
□	31	2	3(3)	ドローンを使ったシステムの開発に関するリスク対応計画について出題。	□	□

©2019 GUSHIKEN,Tohru

学習ナビゲーション追加分コンテンツ（令和2年度受験用）

以下は，本書学習ナビゲーションに関する令和2度受験用の最新情報です。A4（横）にて印刷の上，点線に沿って切り取り，本書の学習ナビゲーション」の該当ページに貼り付けてご活用ください。

切り取り

プロジェクト調達マネジメント特訓フローチャート 追加分 （117ページ）

（1）良問による基礎知識の強化

解説入手	年度	問	出題内容についての説明	理解	復習
□	29	2	請負契約での委託実績がない協力会社に委託を試みるプロジェクトについて出題。	□	□

切り取り

得意分野確認マトリクス（120ページ）

プロジェクトマネジメント分野	学習の優先度	午後Ⅰ試験演習 平均点	午後Ⅰ試験演習 最高点	実務経験(自信の度合い)	得意分野？
プロジェクト統合マネジメント	★★	（　）%	（　）%		YES/NO
プロジェクト・スコープ・マネジメント	★★★	―	―		YES/NO
プロジェクト・タイム・マネジメント	★★★	（　）%	（　）%		YES/NO
プロジェクト・コスト・マネジメント	★★	（　）%	（　）%		YES/NO
プロジェクト品質マネジメント	★★★	（　）%	（　）%		YES/NO
プロジェクト人的資源マネジメント	★★★	―	―		YES/NO
プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント	★	―	―		YES/NO
プロジェクト・リスク・マネジメント	★	（　）%	（　）%		YES/NO
プロジェクト調達マネジメント	★★	―	―		YES/NO
プロジェクト・ステークホルダー・マネジメント	★	（　）%	（　）%		YES/NO

切り取り

論文執筆演習（1本目）候補論文（121ページ）

追加はありません。

切り取り

分野ごと午後Ⅱ論文試験問題一覧 追加分（126ページ）

分野	年度	問	論文テーマ	論文執筆例入手	執筆
プロジェクト統合マネジメント	30	2	システムの暫定的な稼動にともなう関係部門との調整と対応策の検討	□	□
プロジェクト・スコープ・マネジメント	30	1	非機能要件に関する関係部門との連携	□	□
プロジェクト・品質・マネジメント	29	2	プロジェクトの特徴に応じた実効性が高い品質管理計画の策定	□	□
プロジェクト・ステークホルダー・マネジメント	29	1	ステークホルダとの信頼関係の構築と維持	□	□

切り取り

プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント特訓フローチャート 追加分 （131ページ）

（2）過去問題部分解答演習による解答パターンの理解

解説入手	年度	問	設問	出題内容についての説明	理解	復習
□	31	3	3(2)	定例会議について,報告の場としてだけでなく，教育を兼ねた検討の場としたい場合の工夫について出題。	□	□

切り取り

プロジェクト・ステークホルダー・マネジメント特訓フローチャート 追加分 （132ページ）

（2）過去問題部分解答演習による解答パターンの理解

解説入手	年度	問	設問	出題内容についての説明	理解	復習
□	30	3	1,2	ステークホルダ管理簿作成の目的と，その分析について出題。当該分野の数少ない出題であるため，しっかりと回答パターンを覚えておきましょう。	□	□

切り取り

プロジェクト・スコープ・マネジメント特訓フローチャート 追加分 （133ページ）

（2）過去問題部分解答演習による解答パターンの理解

解説入手	年度	問	設問	出題内容についての説明	理解	復習
□	29	1	3	顧客側の要因によりスコープが確定できないリスクに関する対応について出題	□	□
□	31	2	1	プロジェクトとして実施する作業要素に抜けがないことを自身で確認する方法について出題	□	□